

永遠のテーマ “国語の勉強法”

国語の点数が上がらない、勉強法が分からないということをよく聞きます。覚えてできる漢字や文法問題は、理科や社会と同じように覚えればできます。しかし、読み取り問題はそんなに簡単にはいきません。

読み取り問題で点数を取るために、読書が一番ということは、よく言われます。確かにある程度まで、例えば100点満点で70点くらいまでは、読書量を増やせば取れるようになるでしょう。

ここでは、それ以上の点数を国語で取りたいと思っている人に、その勉強法をお伝えします。

テストになった物語文の作者が、そのテストをやったが、全然分からなくて驚いたということがありました。作者は「そんなつもりで書いたんじゃない。どの選択肢も違うじゃないか。」と思ったそうです。

よく、「主人公の気持ちに一番近いものを選べ」という問題がありますが、そのものすばりだとすぐに正解がわかつてしまうので、このような問題になったのです。

しかし、このような問題が出されると作者と出題者の間に考えの違いが出てきてしまします。これが原因で、作者でも解けない問題が出てきてしまうのです。

では、どうするか、質問の内容だけでなく、「なぜ、そんなことを聞くのか」といった出題者の意図を考える必要があります。そして、×を付けられた問題を、後で「なぜこれが正解で、こっちが不正解なのか。」をいつも考える勉強を、出来れば保護者の方と一緒にやってください。このように国語とは、どうやって勉強したらよいかよくわからないほど奥が深い教科なのです。

文学的なセンスを問うような問題もありますが、このような勉強を続けていけば、「ゲームのルール」みたいなものが見えてきます。それは、多くの場合、道徳的なことや常識で考えれば正解がわかるというようなことです。

大人は人生経験を積んで自然に常識や道徳を身に付けていきます。ですから、中学や高校の時、現代文が苦手だと思っていた保護者の方！是非とも今のお子様の国語の問題をやってみてください。驚くほど簡単に正解が分かるはずです。

参考書籍 プレジデント Family

今月の予定

中学生 前期中間テスト対策

5月29日(土)・30日(日) 6月5日(土)・6日(日)
(別紙にて時間は連絡します)

一年生のみなさんにとっては、初めての経験で何かと不安に思つかもしれません、心配する必要はありません。定期テストに向けて、どんな問題が出るのか、どういったことをしっかりと覚えておけばいいのか、各科目について重要な事項をしっかりと説明します。しかし、最後は自分のがんばりです。今、自分の田の前にある、やらなければならぬことから始めいましょう。

二年生は、中だるみする時期です。手を抜かず、もうそろそろしっかりした目標を持ちましょう。二年生は、高校入試に大切な中学での重り單元が、この定期テストの範囲ではいっぱいあります。今回の範囲をしっかりと理解しておかないと後々困ったことになります。

三年生にとっては、内申書の評価を大きく左右する重要なテストとなります。三年の評価は、二倍になります。また、多くの人が併願を志望する私立高校は、三年の前期の内申しか評価の対象になりません。それだけ中学三年生には、重要なテストになります。

よい脳をつくる、上手な勉強法

(1) 勉強を始める前に

たくましい脳に育てる
毎日の習慣
東北大学教授 川島隆太 著

みんなさんが食べたご飯やパンは、消化吸收されて、最後はブドウ糖という形で体の細胞で利用されます。このブドウ糖が、どこで、どれだけ使われているのかを詳しく調べると、脳がいちばんの食いしんぼうだ、といふことがわかります。

みなさんが食べたご飯やパンは、消化吸收されて、最後はブドウ糖といふ形で体の細胞で利用されます。このブドウ糖が、どこで、どれだけ使われているのかを詳しく調べると、脳がいちばんの食いしんぼうだ、といふことがわかります。

音楽を聴きながらの方が集中できるという人がいますが、それはクラシック音楽などボーカルを含まない、ゆったりとした音楽であります。その結果、勉強のために働く脳の活動をじやますむことになります。

また、明日の授業準備とか、ほかに気になることがあつたら、それを先にかたづけて、安心して勉強できるようになります。それは「勉強するんだ」という積極的な気持ちで勉強内容に集中すれば、脳は活発に活動し、効率のよい勉強ができます。

いよいよ、中間テストが六月に行われます！

学校のワークの進み具合はいかがでしょうか？

中間テストは、ここから必ず出題されます。

啓伸塾便り

6月(水無月)
June

基礎学力を重視する学習塾
ただ今、新入塾生募集中
啓伸塾